

キリンググループ 2020年3月販売概況レポート

日頃から大変お世話になっております。キリンググループの3月販売概況について、下記の通りご案内いたします。

記

1. キリンビール社

■新型コロナウイルスの影響で、業務用構成比の大きい「ビール計」は前年比 76%となった。

■「本麒麟」が引き続き好調に推移し、「新ジャンル計」は前年比 108%の着地となった。

・「本麒麟」はリニューアル活動の影響もあり、前年比 131%となり、13 カ月連続^{※1}の前年超えを達成した。

※1：2018年3月～2020年3月の販売数量

■巣ごもり消費の影響もあり、糖質オフゼロ系の商品が好調に推移。「淡麗グリーンラベル」や「淡麗ブラチナダブル」、「のどごし ZERO」、「氷結 ZERO」が前年を上回った。

カテゴリー	前年比	(参考) 1-3月 前年比
ビール類計	95%	98%
ビール計	76%	89%
発泡酒計	97%	94%
新ジャンル計	108%	106%
RTD 計	94%	101%

2. メルシャン社

■家庭用ワインについては認知の高いブランドが選ばれる様子が見られ、「無添加」「フロンテラ」の販売が堅調だった。

カテゴリー	前年比	(参考) 1-3月 前年比
ワイン合計	93%	94%
国内製造ワイン計	95%	97%
輸入ワイン計	90%	91%

3. キリンビバレッジ社

■外出自粛の影響で、オフィスなどでの需要が減少し、午後の紅茶は単月前年比 98%、生茶は単月前年比 89%と伸び悩んだ。

■一方で、健康意識の高まりを背景に、プラズマ乳酸菌入りの「iMUSE」ブランドの好調が寄与し、

健康・スポーツ飲料計では 111%と大きく前年超を達成。清涼飲料計では単月前年比 100%で着地した。

カテゴリー	前年比	(参考) 1-3月 前年比
清涼飲料合計	100%	101%

以上